

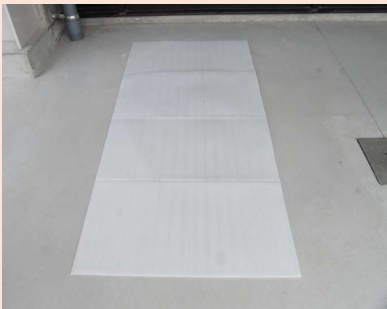
令和5年度ふるさと支援基金（ふるさと納税）等活用事業

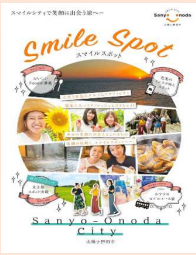
（単位：円）

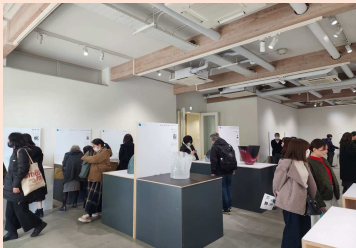
	寄附の目的	事業名	事業概要	事業費	サポート寄附充当額	令和5年度実績
1	子育て・福祉・医療・健康	子ども医療費助成拡充事業	子育て世代の経済的負担軽減を目的として、平成28年8月から対象年齢を拡充し、小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費の自己負担分のうち1割分を助成し、令和2年8月から助成割合を2割に拡充、令和3年8月から助成割合を3割（全額）に拡充します。ただし、子どもの父母の市町村民税所得割の額が136,700円を超える世帯は対象外であったため、拡充の第1段階としてこれを撤廃し、小学校1年生から中学校3年生までの児童全員を対象とします。その後、拡充の第2段階として、対象年齢を高校3年生までに拡充します。	30,554,000	30,300,000	対象者に対して医療費を助成しました。
2		福祉医療（乳幼児・ひとり親家庭）助成事業	乳幼児医療費助成：小学校就学前の乳幼児の医療費（保険適用）自己負担分を助成します。父母の市民税所得割額の合計が136,700円を超える世帯は、9-2の単市助成分で助成します。ひとり親家庭医療費助成：18歳未満の児童を養育するひとり親家庭の父・母及び児童に対して、医療費（保険適用）の自己負担分を助成します。ただし、市民税所得割が非課税の世帯に限ります。	118,478,000	20,008,670	対象者に対して医療費を助成しました。
3		子ども医療費助成事業	子育て世代の経済的負担を軽減するため、小学校1年生から中学校3年生までの児童の保険適用医療費の自己負担分を助成します。ただし、所得制限（父母の市民税所得割額の合計が136,700円以下）があります。	71,000,000	20,000,000	対象者に対して医療費を助成しました。
4		入学祝金給付事業	次代を担う子どもの健全育成を図ること及び子育て世代の定住を目的として、小学校入学を迎える子どもの保護者に対して祝金を給付します。また、令和5年度から対象を拡大し、中学校入学を迎える子どもの保護者に対しても祝金を給付します。	51,270,000	9,050,000	小学校（451人）、中学校（530人）の入学を迎える子どもの保護者に対して、祝金を給付しました。
5		山口東京理科大学との連携によるフォーラムの開催	山口東京理科大学の薬学部、市・大学・医師会・薬剤師会が連携することにより、市民、市外在住者医療関係の企業・団体向けにフォーラムを開催し、薬学部を中心とした地域の活性化と健康・長寿社会の実現に向けた機運の醸成を図ります。	500,000	256,583	令和5年9月24日に「健康で長生きのまちづくりフォーラム～スマイルエイジングin山陽小野田」を山口東京理科大学で実施しました。
6		スマイルエイジング強化月間事業	スマイルエイジングを推進していくにあたり、11月を「スマイルエイジング強化月間」として、様々な取組を展開し、健康への意識の醸成を図ります。また、すべての市民が自分や家族の健康に関心を持つことで、健康管理に気をつけるようになり、健康寿命の延伸につながります。	300,000	223,566	運動イベント（3回）、レシピ・手作り弁当コンテスト（各1回）、市民体操チャレンジ、市民啓発等を実施しました。  

7	市民生活・地域づくり・環境・防災	防犯外灯助成事業	防犯外灯の新設経費及び修理経費の一部を補助することで自治会等の防犯活動を支援し、地域の安全の確保を図ります。また、LED化により電力消費が抑えられ、自治会等の負担軽減や地球温暖化対策にも貢献できるため、防犯外灯のLED化を平成25年度から10年間を目途に促進してきましたが、LED化率は100%には達していないため今後もLED化した場合も補助対象とします。	4,000,000	1,716,500	防犯外灯（124灯）や柱（6本）の新設や修理費用を補助しました。 
8		災害対策本部等強化事業	災害対策本部を設置した場合、速やかな指示系統の確立が重要です。しかし、実際の災害時では多くの機関が災害対策に従事するため、第三者からみると誰に報告すべきか迷走し、確実な指示系統の確立を困難にしています。このことから、応援機関等からの職員の識別を行うためにも山陽小野田市独自の防災服の着用は大変重要であり、迅速な災害対策に資します。また、災害対策には、被害状況、活動状況、気象状況、避難所情報等多くの情報を集約し、共有することが重要となります。このようなことから、プロジェクター画面の多面化を行うことで、全ての情報を一括把握し災害対策本部員以外のすべての災害対策を行っている機関の職員も一目で情報を把握することが可能となることから、必要な資機材を配備し災害対策本部の強化を図ります。	1,964,000	1,282,500	災害対策本部の確実な指示系統の確立、迅速な災害対策に資するため防災服（32着）と防災ビブス（78着）を整備しました。 
9		飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業	環境省発行の「動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針」において、飼い主のいない猫に係る不妊・去勢手術の推進が推奨されています。年々増加する飼い主のいない猫による生活環境トラブルの減少を図るため、及び猫の殺処分の減少のため、市民が率先して行う飼い主のいない猫に係る不妊・去勢手術費用の補助を行います。（雄5,000円、雌10,000円）また、不妊・去勢手術を行う際の捕獲機を購入します。	1,271,000	1,199,696	不妊・去勢手術費（157頭分）の補助を実施しました。
10		シティセールスPR強化事業	若い世代が多く、トレンドにも明るい首都圏の方を対象とするため、大多数の方が所持しているスマートフォン上で実施可能なSNSやアプリなどのデジタル媒体を活用した情報発信が広範囲に行え、最も効果的です。これまでメインターゲットとはしてこなかった首都圏をメインターゲットとすることにより、新たな交流人口の創出や移住者獲得の可能性も高まっています。	1,111,000	1,111,000	スマートフォン上で市の情報や魅力を掲載するとともに、ふるさと納税返礼品プレゼントキャンペーンといったPRを100万回表示しました。10万世帯を対象とし、約10,000回のページビューと約1,000人の応募を獲得しました。
11		地域防災訓練事業	市民の防災意識の向上及び地区防災組織活動の充実等を図るため、地区防災組織が実施する防災訓練に対し経費を補助します。	1,100,000	1,100,000	地区全体の防災意識の向上及び防災体制の充実を図ることを目的とした防災訓練のため、全11地区へ経費を補助しました。

12	市民生活・地域づくり・環境・防災	シティセールスガイドブック作成事業	本市の魅力や住みよさを市内外にPRするため、令和2年1月、シティセールスガイドブック「SO smile」を4,000部作成しました。市役所、各支所などの公共施設への設置やホームページに掲載するとともに、山口宇部空港、東京や大阪などの県移住相談窓口、商業施設や住宅展示場、不動産会社等にも配布しています。また、本市への転入時に配布したり、移住フェア等で配布するなどして、本市の魅力や住みよさをPRしています。 毎年度、課名の変更や施設名称の修正等を行い、内容を最新の状態にして増刷を行っており、令和5年度も、内容を最新の状態に修正、増刷し、今まで配布してきた施設への補充、移住フェアなどでの配布を行い、本市のPRに活用していきます。	985,000	994,400	シティセールスガイドブック「SO smile」の内容を最新に修正し、3,000部増刷しました。 
13		わがまちの魅力発信事業	レノファ山口をはじめとするプロスポーツの試合等の場を活用し、市の魅力のPRを実施することで、市の認知度の向上や交流人口の増加、サポート寄附金の確保を図ります。マツダスタジアム（広島市）でのわがまち魅力発信隊への参加、維新みらいふスタジアム（山口市）でのレノファ山口ホームゲーム・サンクスデーのブース設置等を行います。 県外における本市の認知度は低く、30,000人近くの集客があるマツダスタジアムでのPRは、本市を知っていただく貴重な機会であるとともに、特産品や体験型のチケット、市内レストランの食事券などを景品としたガラボン抽選会などを実施し、関係人口、交流人口の増加、サポート寄附の増加を図っていきます。	735,000	633,098	プロスポーツの試合で市のPRイベントを3回（4/22広島マツダスタジアム、5/13・9/23レノファ山口ホームゲーム）開催しました。 市の特産品や体験型チケット、市内レストランの食事券等を景品としたガラボン抽選会等を実施しました。
14		自主防災組織等育成事業	自主防災組織の活動を活発かつ継続的なものにするため、防災資機材や訓練に要した経費の補助を行います。	1,140,000	378,500	防災資機材（スコップ、土嚢袋、毛布、非常用飲料水等）の整備に活用しました。 
15		移住定住プロモーション事業	移住検討者へ向けた暮らしに役立つ情報及び市の「住みよさ」から見た魅力を情報発信するため、令和3年度に移住定住情報ポータルサイトを開設するとともに、移住検討者に配布するリーフレットを作成しました。当該ポータルサイトを運営し、移住者インタビューの内容を追加するなど、様々な属性の移住検討者へマッチした多様な情報を発信していきます。 またリーフレットについても、公共施設や観光施設、山口宇部空港、東京や大阪の県移住相談窓口を設置するとともに、本市の魅力である「住みよさ」をPRし、本市での暮らしをイメージしやすいツールとして窓口や移住フェアなどでの移住相談で活用し、移住定住を推進していきます。なおリーフレットは在庫を見ながら隔年で増刷を行っていきます。	1,064,000	210,000	移住定住リーフレット「SMILE LIFE」を2,000部増刷しました。 

16	市民生活・地域づくり・環境・防災	避難所備蓄品整備事業	災害発生時に避難所を開設し運営するにあたり、必要な備蓄品について、これまでも食料や生活必需品を中心に日本赤十字社山陽小野田市地区による備蓄が行われていますが、市としても自助・共助を基本とし、コロナウイルスに代表される感染症対策も踏まえ、発災直後に必要となる避難所運営に必要な資器材を備蓄します。	147,000	132,000	災害時、避難所で使用する避難マット（100枚）を整備しました。 
17		防災士育成事業	自主防災組織の活動を充実させ、更に衰退させないためには、地域のリーダー的存在が不可欠です。そのため、地域の防災リーダーを育成するため、各地区の防災士育成を支援します。	130,000	45,000	自主防災組織の活動を充実、地域の防災リーダーの育成のため、防災士試験の受講料を補助しました。
18	産業・観光	担い手支援事業	担い手の育成・確保を図るため、経営発展を目指す認定農業者の農業用機械・施設の導入経費の一部を支援します。 ・補助対象 農産物の生産、農業経営の開始または改善に必要な機械（10万円以上）・施設の取得に要する経費 ・補助金額 事業費の1/2 上限機械50万円・施設100万円（5年間の認定期間中に1回限り）	5,000,000	3,867,000	農業用機械・施設の導入に係る経費を助成しました。 （詳細） 籾摺機1台、色彩選別機1台、播種機1台、ロータリー1台、畔草刈機1台、プレートコンパクター1台、管理機1台、精米機1台、刈払機1台、噴霧器1台、田植機1台、枝豆自動脱莢機1台、枝豆選別機1台、野菜洗浄機1台、農薬散布用ドローン1台、オフセットモアー1台、畝立マルチ1台 

19	産業・観光	創業支援事業（個別相談会、支援セミナー等実施事業）	平成28年4月に策定した「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づき、創業を希望する方（事業承継も含む）への個別相談、会計処理相談などの各種相談会、短期の集中セミナー（起業塾）等を実施します。創業された方に対しても、フォロー体制を整え、事業経営をブラッシュアップします。商工会議所への委託事業とし、実施事業は市の創業支援等事業計画に基づく「特定創業支援事業」と位置づけます。 また、市内で創業を希望する方を対象に、おのだサンパーク内の店舗スペースを一定期間提供する「チャレンジショップ」を実施します。	2,848,000	2,492,360	小野田商工会議所、山陽商工会議所に委託し、相談会やセミナーを実施しました。
20		創業応援金交付事業	「山陽小野田市創業支援等事業計画」に基づく特定創業支援事業を受けた事業者に対し、支援のための助成金を交付します。創業後、1年経過したことを交付要件とし、1年度につき10万円、3年間交付します。	2,000,000	1,600,000	特定創業支援等事業を受けた創業者を対象に応援金（16件）を交付しました。
21		観光プロモーション事業	当該事業は、観光パンフレット及び観光マップ、WEBサイト及びSNS等の情報発信の媒体の中から、目的に応じ、より効果的な手法を選択した上で、本市を知ってもらい、観光誘客に繋げ、観光消費額の増加を図るものです。	1,710,000	1,155,000	観光パンフレット「Smile Spot」を20,000部増刷しました。 
22		観光誘客宣伝事業	山陽小野田観光協会の情報発信経費について補助金を交付し、観光協会ホームページやSNS（フェイスブック、インスタグラム等）、山口県住みます芸人「どさけん」さんを活用した観光情報の発信や、県外イベントや旅行会社への売り込みに参加することに加え、観光パンフレットやノベルティグッズ（ウェットティッシュ、手さげ袋、PRキャラクターシール等）を作成し、イベント参加者に対し配布することで本市の観光資源の認知度向上を図り、交流人口を増加させます。	657,000	657,000	以下の取り組みを実施しました。 ・HP及びSNSによる観光情報発信 ・関西山口県同郷会でのPR（1日実施）、山口県大阪情報発信会でのPR（1日実施）、おいでませ山口館でのPR（1日実施） ・ノベルティとして、ボールペン（2,000本）を製作
23		空き店舗等利活用支援事業	市内の指定地区において、空き店舗を活用して事業をする者（既存事業者、新規起業家等）に対して、当該店舗において事業を開始するための「リニューアルの費用」の一部を補助します。（補助金上限額：1/2以内、50万円 1事業者1回のみ申請可能）	1,500,000	500,000	空き店舗等リニューアル補助金（1件）を交付しました。
24		山陽小野田名産品活用促進事業	山陽小野田観光協会に補助金を交付し、同協会内に設置している山陽小野田名産品推進協議会を通じ、名産品フェアの開催や関西山口県同郷会での広報宣伝活動を行い、名産品の認知度向上及び販路拡大を図ります。また、新たな名産品の発掘や認定に取り組むことで、名産品の認知度向上及び販路拡大を目指します。	151,000	151,000	山陽小野田名産品推進協議会による名産品の認知度向上及び販路拡大に係る経費に充てました。 ・やまぐち名産品フェア：3日実施 ・東京都（おいでませ山口館）でのPR：4日実施 ・関西山口県同郷会でのPR：1日実施
25		観光ボランティアガイド活動支援事業	山陽小野田観光協会において、観光ガイド団体が実施する事業に対し、助成金を交付し、活動を支援します。ガイド派遣事業では、他市町とのガイド料の均衡を図るため、ツアーを受け入れた場合のガイド料の一部を補助します。ガイド育成事業では、研修会の開催に要する事業費の一部を補助することで、観光客等へのホスピタリティ向上を図ります。	100,000	56,000	ガイド派遣事業（上半期：33,000円 下半期：3,000円）及びガイド育成事業（上半期：20,000円 下半期：0円）を実施しました。

26	教育・文化・スポーツ	現代ガラス展開催事業	本市の特色の一つであるガラス文化を推進するため、平成13年度から3年に1度開催している「現代ガラス展in山陽小野田」の第9回展を開催します。ガラス作家・故竹内傳治の若手作家を育成したいという思いから、45歳という年齢制限を設け、今では全国的な知名度を誇る若手登竜門的コンペティションとなっています。 第9回展は、これまでの開催内容に工夫を凝らしながら、ガラス文化の魅力をさらに引き出し、交流人口の増加を図るほか、第7回展にも開催した県立萩美術館・浦上記念館や、第8回展に引き続き、東京・上野の森美術館を会場とした特別作品展を開催することにより、市内外へのガラス文化発信に加えて、本市の魅力を首都圏で広く発信します。	11,100,000	11,100,000	以下の日程で開催しました。 〈本展〉令和5年7月8日～8月26日※3,748人来場 〈特別作品展：萩展〉令和5年9月16日～12月3日※13,141人来場 〈特別作品展：東京展〉令和6年3月6日～3月10日※2,527人来場   
27		(主催) 子ども文化ふれあい事業	子ども達に多彩なアーティストによる優れた公演を間近に体験させることにより、豊かな感情や情緒を育み、創造的で個性的な価値観を養うため、不二輸送機ホールや幼・保育園で芸術文化鑑賞会を実施します。 ・小学生対象(市内全6年児童) 令和3年度以降、小学5・6年生の児童を対象に各小学校で行っていましたが、令和5年度以降は以前のように不二輸送機ホールに市内全6年生を一度に集めて夏休み前に実施します。 ・幼・保育園児対象(2回) 幼児期に音楽に触れる経験が、音を聴く力、言語能力等に与える効果を期待し、未就学児を対象に実施します。	1,917,000	1,662,509	様々な音楽と語りにより、竹取物語をアレンジした公演(1回)を市内全小学校の6年生を対象に実施しました。 市内幼保育園(6園)を対象とした音楽のミニコンサート(4回)を実施しました。 

28		歴史民俗資料館管理運営事業（企画展）	歴史・文化財について広く学習でき、興味関心を持ち、郷土愛の醸成につながるような企画展・講演会を開催します。歴史学、民俗学、考古学の分野、様々なテーマで開催し、山陽小野田市の歴史へ理解を深めることを目的とします。	1,274,000	1,239,926	企画展（3回）、講演会（1回）、体験教室（4回）を実施しました。  
29	教育・文化・スポーツ	レノファ山口とのパートナーシップ事業	スポーツによるまちづくりと市民の一体感醸成のため、本市を練習拠点としているプロスポーツチームであるレノファ山口を活用し、選手による園児や小学生とのスポーツ交流事業などを実施します。選手やスタッフ等と市民が交流します場をすることにより、市民の一体感の醸成を促し、地域活性化やスポーツによるまちづくりを推進します。 令和3年6月に市とレノファ山口との間で締結した包括連携協定に基づき、社会課題や地域課題の解決に向けて双方で連携した事業を実施します。レノファ山口ホームゲームでの市PRをあわせて実施します。	800,000	764,860	幼・保育園での交流事業（4園）、中学校での交流事業（1校）、中学校でのキャリア教育（1校）、ホームタウンデーイベントを開催しました。  

30		パラサイクリングのまちPR事業	東京2020パラリンピック後においてもパラサイクリング日本代表チームの支援を継続することで、パラサイクリングのまちとして情報発信を行います。また市民との交流事業を実施し、障がい者スポーツの支援、共生社会の推進を図ります。 ・合宿誘致（助成制度） ・交流事業（委託事業） ・講演会（パラサイクリング日本代表選手による講演会）	1,600,000	500,000	保育園での交流事業（1園）、小学校での交流事業（2校）、市民館での講演会（1回）を実施しました。  
31	教育・文化・スポーツ	かるたによるまちづくり推進事業	市内公共施設や小学校の授業の一環としてかるた教室を開催することで、市内全域への競技かるたの普及を進めます。また、教室参加者や競技者を対象としたかるた大会を開催することにより、競技者のさらなる増加を図ることで、「かるたのまち山陽小野田」の魅力を発信し、交流人口の拡大を図る等、かるたによるまちづくりを展開します。	500,000	497,795	市内全小中学校（17校）を対象とした学校かるた出前教室（21回）や、市内幼保育園（9園）を対象とした幼児かるた出前教室（8回）を実施しました。一般向けでは、かるた教室（2回）、かるた大会（1回）を実施しました。  

32	教育・文化・スポーツ	(主催) アウトリーチ事業 (臨時)	普段コンサートホールに行くことが難しい人にも、身近な場所で誰もが参加しやすい文化芸術の鑑賞・体験機会が生まれるよう、地域交流センターや学校、保育所などの福祉・教育施設や民間施設等で実施します。市民一人一人の文化習慣を高め、地域の文化力向上を目指すためにも、リスペクトの対象となり得るレベルのものを企画・提供していきます。	600,000	366,701	花の海でオーケストラの演奏(1回)、小野田サンパークでゴスペルイベント(1回)を実施しました。 
33		ガラス文化推進事業	・出張ガラス体験教室の開催 市内外の行事等で開催し、多くの人が本市ガラス文化に興味を持つきっかけとするとともに、きららガラス未来館をPRし来館を促すことで、本市特有のガラス文化の推進を図ります。 ・市所有ガラス作品の定期的な展示替え 公共施設等に展示しているガラス作品の定期的な展示替えを行い、市民が様々なガラス作品を鑑賞する機会を提供します。	392,000	260,480	ガラス制作体験を市内、萩市、広島県で、合計5回実施し、合計110名の方が参加されました。 
34		キャリア教育推進事業	義務教育段階の子どもの社会的・職業的自立に向けて必要となる「基礎的・汎用的能力」を育てるとともに、夢を抱かせ、更に夢を志に進化させる教育の充実を図ります。主体的に自らの未来を切り開くとともに、郷土に誇りと愛着をもち、地域に貢献する子どもを育成するため、学校と家庭、大学、地域、産業界等が、連携・協力したキャリア教育を推進し、教育活動の一層の充実を図ります。 本市出身者、または地元で活躍中(文化・スポーツ・起業家等様々な分野)の人材を招いて講演会等を開催します。	660,000	259,492	全小・中学校において、職業体験や職業講話等を実施しました。  

35	教育・文化・スポーツ	スマイル・サイエンス事業	義務教育段階から科学に対する興味、関心を喚起し、科学体験に重点を置いた理数教育の充実を図ります。山口東京理科大学との教育連携協定の一つとして、大学キャンパスを会場とし科学体験・科学作品展を開催します。	565,000	169,815	山口東京理科大学の大学開放日に科学作品展を実施しました。
36		備品購入事業	講演会・出前講座・資料整理・企画展・体験教室等に必要の備品を計画立てて購入します。特に講演に出かけることが多く、各施設ごとにパソコン、プロジェクター、ケーブルの準備に不足や不便があるため購入します。	165,000	163,944	出前講座等で使用するノートパソコンを購入しました。 
37		芸術文化アドバイザー設置事業	芸術文化活動の活性化及び本市の特色を活かした芸術文化によるまちづくりの推進を目的として、専門的な立場からの助言を得るため、芸術文化アドバイザーを設置します。ガラス、かるた競技、音楽のアドバイザーから各種文化事業開催にあたり助言を得ることで、事業展開を充実させます。（各分野2名/合計6名）	360,000	120,000	ガラス（1回）、かるた（4回）、音楽（7回）のアドバイスをいただきました。
38		パラサイクリング支援の輪拡大事業	パラサイクリングの主要競技の一つであり象徴的な機材であるタンデム自動車の体験会を実施し、パラサイクリングの魅力や本市とナショナルチームとの関わりの紹介を通じて、パラサイクリングを支援します人の輪を拡大します。また小学校等での出前講座の実施により、パラサイクリングに対します市民への周知を図ります。	200,000	30,000	出前講座（1回）を実施しました。
39	クラウドファンディング	音楽で心のパワーチャージ『生きる in 山陽小野田』	自然と地域の文化資源を生かした音の街づくり。地域文化活動に携わる芸術家と市民の手によって作られた楽器・楽団を大切に育み未来に繋がめます。	1,000,000	1,000,000	令和5年11月23日 不二輸送機ホールにおいて、「心を元気にするコンサート～ パワーアップ『生きる』～」を開催しました。 
40		心を動かす音楽を未来を担う若い世代に！	一流のプロの音楽に触れることのできる機会を創り、半径60キロ、最も近くにあるプロのオーケストラ、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団の演奏をお届けいたします。	4,000,000	4,000,000	令和6年2月10日不二輸送機ホールにおいて、「北九州グランフィルハーモニー管弦楽団演奏会」を開催しました。 
					121,255,395	

寄附金充当額合計